



NPO／特定非営利活動法人

## 放送批評懇談会

# 第6回通常総会議事録

- 第一号議案 議長の選任
- 第二号議案 放送批評懇談会 2009 年度事業報告
- 第三号議案 放送批評懇談会 2009 年度収支決算
- 第四号議案 放送批評懇談会第6期7期役員
- 第五号議案 放送批評懇談会 2010 年度事業計画
- 第六号議案 放送批評懇談会 2010 年度収支予算

放送批評懇談会

2010年6月20日



NPO 放送批評懇談会

第 6 回通常総会 2010

**特定非営利活動法人放送批評懇談会**

**<第 6 回通常総会>**

- 開催日 2010年6月20日
- 会場 スバルビル レガシィホール
- 会勢 <正会員>  
196名 (入会20名、退会21名)  
<維持会員>  
129社 (退会2社)
- 出席者 34名  
飯田みか 石井 彰 石井清司 石橋さや夏  
市村 元 入江たのし 碓井広義 小田桐誠  
音 好宏 小原道雄 兼高聖雄 隈部紀生  
五井千鶴子 上滝徹也 坂本 衛 桜井聖子  
嶋田親一 千田利史 滝野俊一 竹林紀雄  
田代勝彦 田中典子 中島好登 永田俊和  
中村正敏 中村美子 丹羽美之 信井文夫  
橋本 隆 稗田政憲 藤田真文 藤久ミネ  
山田健太 渡辺久哲
- 委任状提出者 80名
- 出席予定者と委任状提出者で計114名



NPO 放送批評懇談会

第6回通常総会 2010

## 第一号議案 議長の選任

定款第27条「総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する」の規定に則り、出席の正会員のなかから、「中村美子氏」を合議により選出。

第二号議案

放送批評懇談会

2009年度事業報告



## 2009年度総務事業報告

### 1. 記念事業プロジェクトで2事業決定

志賀基金の活用を図り、記念事業を実施するために、2009年3月に設置した記念事業プロジェクトで検討した結果①志賀信夫賞を創設する②当会設立50周年を記念して「放送批評の50年」を出版することを決めました。

メンバー 音 好宏 隈部紀生 上滝徹也 藤久ミネ  
藤田真文 入江たのし 坂本 衛 嶋田親一  
川喜田尚 永田俊和 中島好登

#### ①志賀信夫賞の創設

日本の放送批評のパイオニアで、長年当会の理事長、名誉会長を務めた志賀信夫氏の功績を記念して2010年から志賀信夫賞を創設することにしました。この賞は放送番組の制作だけでなく、広く放送界の発展に貢献された放送人を顕彰するものです。選考に当たっては当会正会員による候補者の推薦を受けて、選考委員会で選考した結果、第1回受賞者として澤田隆治氏を選定し、6月3日ギャラクシー賞の贈賞式で清水英夫名誉会員から賞状と盾をお贈りしました。

選考委員会メンバー 音 好宏 (委員長) 隈部紀生  
上滝徹也 小田桐誠 藤田真文

#### ②「放送批評の50年」の出版

2013年に当会が設立50周年を迎えるにあたって、50年間発行してきた月刊誌「放送批評」と「GALAC」の代表的論文を選んで「放送批評の50年」(仮題)を出版することにし、企画事業委員会を中心に準備作業を開始しました。

### 2. 財務プロジェクトで健全財政への対策

会の今後の財務を検討するために設けたプロジェクトで健全財政を守るために、個別の対策を講じました。

メンバー 音 好宏 隈部紀生 小田桐誠 石井 彰

市村 元 堀木卓也 永田俊和  
信井文夫 宮前周司



3. ギャラクシー賞マイベストTV賞について  
創設4年にあたり、新しい試みも実施しましたが、課題も明らかになってきました。  
(具体的には滝野プロジェクトリーダーから報告します)
4. 第9回「日韓中テレビ制作者フォーラム IN 仁川大会」について  
2009年10月14日～17日に韓国・仁川で開催された大会に協賛し取材と研修のために2名を派遣しました。  
\*出張者 坂本衛 久野明(事務局)  
\*自費参加 会員5名
5. 収支決算について  
3事業(選奨、企画、出版)が全体として予算の収入を達成し、また支出を引き締めた効果もあり、繰越金を計上できました。その一部を50周年記念事業のための引当金にすることにしました。



NPO 放送批評懇談会

第6回通常総会 2010

## 2009年度出版編集事業報告

1. 本年度は下記のメンバーで運営しました。

委員長	丹羽美之
副委員長	飯田みか
委員	安斎茂樹 滝野俊一 辻 春輝
	中村美子 桧山珠美
	水島宏明 山田健太
編集スタッフ	中島好登 久野 明 福島美子

2. 毎月6日に「GALAC」を発行しました。

- 1) 幅広い特集テーマに取り組みました。

2009年10月号	メディアの倫理って何？
2009年11月号	こんな生番組が見たい！
2009年12月号	民主党政権でテレビはどう変わる？
2010年1月号	放送ゆく年くる年／第47回上期G賞
2010年2月号	こんなドラマが見たい！
2010年3月号	ラジオ応援宣言。
2010年4月号	ニッチを開拓せよ！-BS、MXの挑戦
2010年5月号	著作権とテレビの未来
2010年6月号	ドキュメンタリーの楽しみ方
2010年7月号	決定！第47回ギャラクシー賞
2010年8月号	詳報！第47回ギャラクシー賞
2010年9月号	これでいいのか！放送法改正

- 2) 2009年8月6日(2009年9月号)から、ニフティ株式会社が運営するPC向けサイト「@nifty ニュース」(<http://news.nifty.com/>)に一部記事の配信を始めました。
- 3) 発行部数は約4000部を目安としました。ただし、2009年6月号と2009年12月号は増刷を行い、大幅な販売収入増となりました。
- 4) 広告収入が苦戦しましたが、編集費を抑制して対応しました。



NPO 放送批評懇談会

第6回通常総会 2010

## 2009年度選奨表彰事業報告

1. 本年度は下記の委員の構成で運営しました。

選奨事業委員長 小田桐 誠

＜テレビ部門委員会＞

委員長 藤久ミネ

副委員長 石井 彰

委員 石橋さや夏 井上幸一 岩根彰子 川喜田 尚  
河野尚行 古賀靖典 佐藤由子 隅井孝雄  
田中早苗 中村正敏 原 真 藤田真文  
柳川素子

＜ラジオ部門委員会＞

委員長 橋本 隆

副委員長 桜井聖子

委員 遠藤ふき子 木原 毅 黄 莉香 さらだたまこ  
高瀬 毅 田代勝彦 田中千恵 仲宇佐ゆり  
三國 游 森忠 荘 山本 索

＜CM部門委員会＞

委員長 兼高聖雄

副委員長 諸橋泰樹

委員 入江たのし 岩本太郎 鈴木ゆかり  
田中典子 丸茂 巧 三日月まりこ  
山川浩二

＜報道活動部門委員会＞

委員長 坂本 衛

副委員長 碓井広義

委員 麻生千晶 今村庸一 小田桐誠 上滝徹也  
小林英美 鈴木典之 田原茂行 露木 茂  
山田健太

選奨事業委員会担当事務局 福島美子

2. 第47回ギャラクシー賞各部門の選考のため、以下の作業を行いました。

＜テレビ部門委員会＞

- ・2009年4月から2010年3月まで、毎月選考会を開き



## NPO 放送批評懇談会

## 第6回通常総会 2010

月間賞4本を選びました。

選考結果を「GALAC」誌上に番組一覧表および合評形式で発表しました。毎月20日を情報解禁日とし、月間賞の選考結果をプレスリリースしました。

- ・2009年9月11日から28日まで、10月13、14、15日に、第47回上期自薦作品102本を視聴。10月30日、月間賞（23本）と自薦作品の中から上期入賞作品7本を選出しました。
- ・2010年3月15日から29日まで、4月9から14日に第47回下期自薦作品111本を視聴。4月24日、月間賞（23本）と自薦作品の中から、下期入賞作品7本を選出しました。同時に特別賞、個人賞も選びました。
- ・2月27日、28日に「受賞作品を見て語り合う会」を門仲天井ホールで開催しました。

### <ラジオ部門委員会>

- ・2009年4月から2010年3月まで、毎月ラジオ委員会を開催してラジオについての合評を行いました。
- ・2009年10月、第47回上期自薦作品を聴取し、10月20、23日に各部門の上期候補作品を選出。
- ・2010年4月、下期自薦作品を聴取し、4月13、16日に各部門の下期候補作品を選出。
- ・4月20日、上期下期をあわせた候補作品の中から入賞作8本を選出し、DJパーソナリティ賞も選出しました。
- ・2009年7月5日、9月20日に「入賞作品を聴いて、語り合う会」を開催しました。

### <CM部門委員会>

- ・3か月ごとにCMの視聴合評会を開催しました。
- ・2009年10月19日、上期自薦作品を視聴し、13本の候補作品を選出。
- ・2010年4月19日、下期自薦作品を視聴し、13本の候補作品を選出。上期下期合わせた中から13本の入賞作品を選出。

### <報道活動部門委員会>

- ・2009年10月24日、上期自薦作を視聴・聴取し、4本の候補作を選出。



## NPO 放送批評懇談会

## 第6回通常総会 2010

- ・ 2010年4月17日、下期自薦作を視聴・聴取し、4本の候補作を選出。上期下期合わせた中から6本の入賞作を選出。
  - ・ 「GALAC」連載ページを委員が分担し、地方における報道活動の紹介、各局報道活動への期待、特定のテーマを追う報道活動についての論考などについて執筆。
  - ・ 2009年11月7日、公開シンポジウム「ギャラクシー受賞報道活動を見て、制作者と語る会」を日本大学芸術学部放送学科と共催しました。学生・市民など250名以上の参加を得て、大好評でした。
3. 2010年6月3日（木曜日）、ウェスティンホテル東京ギャラクシールームにて  
「第47回ギャラクシー賞贈賞式・宴」を開催しました。  
なお、実行プロジェクトメンバーは次のとおりです。（飯田みか、石橋さや夏、入江たのし、岩根彰子、碓井広義、小林英美、嶋田親一、仲宇佐ゆり、桧山珠美、三原 治／中島好登）。  
出席者は報道陣、スタッフも含めて、約600名でした。



## 2009年度企画開催事業報告

1. 2009年度の企画事業委員会は、下記の委員で構成しました。

委員長	藤田真文
副委員長	入江たのし
委員	勝野正博 砂川浩慶 只野 哲 堀木卓也 前川英樹 元橋圭哉 (以上シンポジウム企画担当) 小林 毅 深川 章 (以上出版企画担当)

2. 2010年3月8日に都市センターホテル・コスモスホールで、放送批評懇談会シンポジウム2010「放送新世代へ3つの焦点～政策・広告・経営～」を開催しました。

このシンポジウムは、第1に16年ぶりの政権交代によって誕生した民主党政権が通信・放送融合時代の法制度改革などについて、どのような方針をもって臨んでいるのか。

第2に、インターネットの伸長、日本企業の広報宣伝活動のグローバル化などによって、放送広告市場にどのような構造変化があるのか。第3に、政策と広告市場の変化を受けて、放送局、特に民放の経営戦略にどのような課題があるのか。今後の放送を決定づける政策・広告・経営という3つの側面に焦点をあてて、放送メディアの新たな方向性を考えていくことを企画の目的としました。

放送関連業界の業績悪化の影響もあり、当日の参加者は218人で昨年度より40人減でした。その結果として企画開催事業全体の収益としては、2009年度予算を若干下回りました。一方、参加者のアンケートからすると、企画・運用面では高い評価を得ることができました。

その他、書籍の刊行などを含む「放送批評」に関する情報発信について企画を練りましたが、年度内に具体的な形にすることはできませんでした。



NPO 放送批評懇談会

第6回通常総会 2010

## 2009年度マイベストTV賞

### プロジェクト事業報告

1. 以下のメンバーで運営しました。  
プロジェクトリーダー 滝野俊一  
メンバー 仮屋和則 桧山珠美  
アドバイザー 藤久ミネ  
事務局 久野 明
2. 2006年3月より募集をしたWeb会員の登録者は1777名（2010年6月15日現在）に達しました。携帯電話から登録できることもあり、大学生などの若者層の参加も増えてきました。
3. レギュラーの投票とは別に、1月に「深夜放送」の特別投票を実施しました。年間グランプリ投票のベストテンに3作品が入るなど、会員のより幅広い声が反映される結果となりました。
4. 第4回「マイベストTV賞グランプリ」が決定しました。Web会員1751名に放送批評懇談会の正会員192名が加わり、グランプリの投票にあたりました。グランプリ作品は、投票によって決められたノミネート作（毎月上位3作品）36本、特別投票作品（深夜番組）3本、計39本の中から、最高3本までを投票するという方法で決められ、74票を獲得した日曜劇場「JIN—仁—」（TBS）が荣誉に輝きました。  
また、投票されたWeb会員の中から1組2名を、プレゼンターとしてギャラクシー賞贈賞式に招待しました。贈賞式（宴）ではプロデューサー、監督が登壇し、トロフィー、賞状を受け取りました。

第三号議案

放送批評懇談会

2009年度収支決算

## 収支計算書

平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日まで(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異
<b>I. 収入の部</b>			
1. 会費等収入			
会費収入	2,800,000	2,396,050	403,950
維持会費収入	42,300,000	41,574,000	726,000
2. 事業収入			
選奨表彰事業収入	24,400,000	25,372,984	△ 972,984
企画開催事業収入	3,500,000	3,408,000	92,000
40周年記念収入		9,000	△ 9,000
3. その他の収入			
出版編集事業収入	7,300,000	10,638,335	△ 3,338,335
広告料収入	6,000,000	5,779,000	221,000
4. 雑収入			
受取利息	0	158,071	△ 158,071
雑収入	0	0	0
<b>当期収入合計</b>	<b>86,300,000</b>	<b>89,335,440</b>	<b>△ 3,035,440</b>
<b>II. 支出の部</b>			
1. 事業費			
選奨費	6,800,000	6,909,316	△ 109,316
式典費	9,600,000	9,707,239	△ 107,239
企画開催費	2,000,000	2,762,922	△ 762,922
原稿料	6,500,000	6,882,649	△ 382,649
編集費	4,200,000	3,485,169	714,831
雑誌印刷費	17,700,000	18,219,600	△ 519,600
発送費	1,800,000	1,842,593	△ 42,593
2. 管理費			
給料手当	17,100,000	17,092,494	7,506
人件費	5,000,000	2,696,760	2,303,240
法定福利費	2,500,000	2,394,871	105,129
福利厚生費	200,000	142,069	57,931
旅費交通費	550,000	494,350	55,650
通信費	1,350,000	1,060,146	289,854
資料費	1,020,000	1,004,811	15,189
会議費	300,000	231,354	68,646
水道光熱費	290,000	262,876	27,124
事務用品費	150,000	120,298	29,702
消耗品費	550,000	462,798	87,202
備品費	400,000	209,954	190,046
修繕費	0	0	0
諸印刷費	600,000	338,762	261,238
広報費	500,000	457,100	42,900
支払手数料	160,000	132,642	27,358
賃借料	4,000,000	3,929,528	70,472
保険料	780,000	792,660	△ 12,660
交際費	200,000	77,330	122,670
雑費	700,000	740,311	△ 40,311
諸会費	120,000	115,644	4,356
租税公課	130,000	118,300	11,700
退職給付引当金繰入	1,000,000	1,000,000	0
予備費	100,000	0	100,000
50周年準備引当金繰入		5,000,000	△ 5,000,000
<b>当期支出合計</b>	<b>86,300,000</b>	<b>88,684,546</b>	<b>△ 2,384,546</b>
<b>当期収支差額</b>	<b>0</b>	<b>650,894</b>	<b>△ 650,894</b>

## 貸借対照表

平成 22 年 3 月 31 日現在(単位:円)

科目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	28,899,277		
未収入金	3,310,500		
所有物	286,625		
流動資産合計		32,496,402	
2. 固定資産			
賃借権利金等	161,202		
差入保証金	4,099,500		
特定資産			
志賀基金	100,000,000		
退職給付引当金	18,104,068		
50周年準備引当金	5,000,000		
固定資産合計		127,364,770	
資産合計			159,861,172
II. 負債の部			
未払金	5,070,682		
前受金	1,785,000		
預り金	406,877		
退職給付引当金	18,104,068		
50周年準備引当金	5,000,000		
負債合計			30,366,627
III. 正味財産の部			
志賀基金	100,000,000		
その他の正味財産	29,494,545		
正味財産合計			129,494,545
(うち基本金)			0
(うち当期正味財産増加)			650,894
負債及び正味財産合計			159,861,172

## 正味財産増減計算書

平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日まで

(単位:円)

科目	金 額		
I. 増加の部			
1. 資産増加額			
現金預金増加額	1,922,966		
賃借権利金増加額	139,708		
特定資産増加額	6,000,000		
増加額合計		8,062,674	
II. 減少の部			
1. 資産減少額			
未収入金減少額	338,000		
2. 負債増加額			
前受金増加額	105,000		
預り金増加額	1,874		
未払金増加額	966,906		
退職給付引当金増加額	1,000,000		
50周年準備引当金増加額	5,000,000		
減少額合計		7,411,780	
当期正味財産増加額			650,894
前期繰越正味財産額			128,843,651
期末正味財産額			129,494,545

第四号議案

放送批評懇談会

第6期7期役員



NPO 放送批評懇談会

第6回通常総会 2010

## 放送批評懇談会 第6期7期役員

- 名誉会長 清水英夫  
理事長 音 好宏  
専務理事 橋本 隆 (総務担当)  
常務理事 上滝徹也 (選奨事業委員会テレビ部門委員長)  
小田桐 誠 (選奨事業委員長)  
藤田真文 (企画事業委員長)  
理事 飯田みか  
石井 彰  
市村 元  
入江たのし  
碓井広義 (選奨事業委員会報道活動部門委員長)  
兼高聖雄  
川喜田尚  
隈部紀生  
五井千鶴子 (選奨事業委員会CM部門委員長)  
河野尚行  
坂本 衛  
桜井聖子 (選奨事業委員会ラジオ部門委員長)  
嶋田親一  
滝野俊一 (マイベストTV賞プロジェクトリーダー)  
中島好登  
丹羽美之 (出版編集委員長)  
稗田政憲  
山田健太  
監事 田代勝彦  
原 由美子  
名誉会員 志賀信夫

第五号議案

放送批評懇談会

2010年度事業計画



NPO 放送批評懇談会

第6回通常総会 2010

## 2010年度総務事業計画

### 1. 記念事業の実施

2009年度に決定した2つの記念事業について第2回志賀信夫賞の選考、表彰を進め、当会の50周年記念事業として出版する「放送批評の50年」について、論文の選定、出版の準備を企画事業委員会を中心として推進します。その他の事業の必要性、採算についても検討します。

### 2. 「ギャラクシー賞マイベストTV賞」の推進

第5回を迎え、Web 会員の増加を図るとともに、新しい工夫を加えて推進します。

プロジェクトリーダー・滝野俊一

メンバー・石橋さや夏 永田俊和 桧山珠美

事務局・久野 明

(具体的にはプロジェクトリーダーから報告します。)

### 3. 第10回「日韓中テレビ制作者フォーラム蘇州大会」に協賛、参加

第10回大会は2010年10月15日～19日に中国・蘇州で、「わたしたちの暮らし」をテーマに開催される予定です。この大会に協賛し、取材と研修のため1名を派遣するとともに、自費参加者も加えて大会の成功に寄与します。

### 4. 財務の健全性確保

財務プロジェクトで会員の維持拡充、財務の健全性確保を図ります。

### 5. 収支予算案について

収入の部では経済動向がまだ不透明なうえ、メディアが変

革期で、「GALAC」の広告収入の確保が引き続き厳しい状況にあり、会員の維持・増加に努めますが、選奨事業収



**NPO 放送批評懇談会**

**第6回通常総会 2010**

入、企画事業収入についても現状を上回ることは困難が予想されます。

このため支出の部では、将来の新規事業の開始については、採算性を十分検討し、継続事業についても経費の削減に努めて健全な財務を維持します。



NPO 放送批評懇談会

第6回通常総会 2010

## 2010年度出版編集事業計画

1. 本年度は下記のメンバーで運営します。

委員長	丹羽美之		
副委員長	飯田みか		
委員	岡田芳枝	古賀靖典	高瀬 毅
	滝野俊一	中村美子	桧山珠美
	水島宏明	山本博史	渡辺久哲
編集スタッフ	中島好登	久野 明	福島美子

2. 毎月6日に「GALAC」を発行します。本年度の運営方針は以下の通りです。
- 1) 批評を通じて放送文化の発展・向上に貢献する雑誌を目指します。
  - 2) 特集のテーマや視点を工夫し、タイムリーな話題から中長期的な話題まで、ローカルな話題からグローバルな話題まで、現在の放送を取り巻く様々な課題に幅広く対応するように努めます。
  - 3) 新たな書き手を発掘し、誌面の活性化を図ります。
  - 4) 選奨事業委員会や企画事業委員会と連携しながら、イベントや出版と連動した紙面展開を考えます。
  - 5) 原稿料、編集費、印刷費など適正なコストを実現していますが、引き続きこれに努力します。
  - 6) 発行部数は引き続き約4000部を見込んでいます。
  - 7) 事務局と連携して、新たな出稿先や販売網の拡充に努めます。



NPO 放送批評懇談会

第6回通常総会 2010

## 2010年度選奨表彰事業計画

1. 2010年度は下記の委員構成で運営します。

選奨事業委員長 小田桐 誠

＜テレビ部門委員会＞

委員長 上滝徹也

副委員長 川喜田 尚

委員 石橋さや夏 岩根彰子 小磯 亮 隅井孝雄  
高村 裕 田中早苗 中町綾子 藤田真文  
吉田正樹（3名ほどの増員を検討中）

＜ラジオ部門委員会＞

委員長 桜井聖子

副委員長 高瀬 毅

委員 石原信和 木原 毅 黄 莉香 近藤倫章  
さらだたまこ 武田三千代 田代勝彦  
塚本 茂 原 きよ 深井教雄 ペリー萩野

＜CM部門委員会＞

委員長 五井千鶴子

副委員長 稗田政憲

委員 入江たのし 木村政司 鈴木ゆかり  
田家秀樹 田中典子 谷岡理香 本庄雅之  
丸茂 巧 諸橋泰樹 山川浩二

＜報道活動部門委員会＞

委員長 碓井広義

副委員長 市村 元

委員 今村庸一 小田桐 誠 加来由子 兼高聖雄  
鈴木典之 鈴木嘉一 中村正敏 堀木卓也  
宮前周司

選奨事業委員会担当事務局 福島美子

2. 第48回ギャラクシー賞（2010年度）の審査、ならびに贈賞式を行います。



3. 2010年度の運営方針は以下のとおりです。

ギャラクシー賞の選考に関し、いっそうの議論の活性化を図り説明責任と透明性を高めるための工夫などを、各委員会とともに具体的に検討していきたい。

1) テレビ部門委員会の運営

日々の視聴に基づく選奨を大切にするとともに、応募作品の熱意にも敬意を払って、ギャラクシーの名に恥じない番組批評を心がけます。そのためには、テレビの文化的特質と社会的機能への意識を常に働かせ、すべてのジャンルを選奨の対象としなければなりません。そうしなければ、視聴者から遊離した批評になりかねないからです。また、地上波だけでなく、BS等々の番組にも視野を広げることも求められます。多様なメディア環境と厳しい経済環境に直面する時代、テレビ文化の継承と明日への指針に資する選奨、なによりも現場制作者への精神的な支援となるような批評活動を目指します。

2) ラジオ部門委員会の運営

ラジオの動きを側面から支える批評活動となるよう、委員全員で番組批評の質の向上と充実を心掛けます。毎月の合評会では今後の番組づくりへの提言、ラジオ業界の活性化に繋がるヒトやコトに着目すると同時に、Twitter、Ustreamなどデジタルツールとの融合やIPサイマルなど接触のチャンスが多くなったラジオ、その新たな相互関係も考察します。

「ギャラクシー賞入賞作品を聴いて、語り合う会」は、優れた作品の紹介が制作者の活力となり、番組の向上とともに今後のギャラクシー賞応募に繋がると考えています。ラジオ関係者への開催の告知方法を再度検討し動員数の安定を図り、若い世代の参加者を強化したい。ま



た、民放ラジオ60年の取り上げ方や前委員長時代からの懸案でもあるコミュニティFMの活動を評価する方法論も探っていきます。

### 3) CM部門委員会の運営

来年、2011年7月24日。いよいよ地上デジタル放送の開始を迎える。それによって新しい広告技術が推進されるのは間違いない。16:9のワイドな画面いっばいに、広告はどんな迫力をもって私たちに訴えてくるのだろうか。

だが、リーマンショック以降、経済の本格的な回復にはまだ時間がかかりそうで、広告環境を取りまく情勢は厳しさが続く。テレビと競合するさまざまなITメディアの誕生にも、クリエイターの悩みはつきないだろう。CM部門委員会では、新しい可能性を求めてチャレンジする多くの広告人に敬意を払いつつ、生活者に寄り添い、人のところに届くテレビCMを応援したい。「広告は文化だ」といわれた時代を取り戻すべく選奨活動をすすめていきたい。

### 4) 報道活動部門委員会の運営

ギャラクシー賞における「報道活動」とは、以下のようなものを指します。

①一定期間の放送を通じて、あるテーマを設定してのキャンペーン報道、複数局が参画し協同する報道、系列の

連携による総力報道など、特定の番組枠を超えて継続的に取り組んだ報道活動。

②単体の番組としては完結していなくても、社会性・時代性のある画期的なスクープ報道、長期にわたる優れた調査報道、フリーランスによる特定のテーマ報道、番組コーナーを活用した報道活動など、番組単体でくくることのできないテレビ・ラジオのあらゆる報道活動。

報道活動部門委員会では、上記のような報道活動に広く



**NPO 放送批評懇談会**

**第6回通常総会 2010**

目配りし、これを応援する選奨活動を展開します。

とくに、地域の放送ジャーナリズム活動、既存メディアがあまり取り上げない問題に光を当てる報道、さまざまな制約と格闘しながら信じる主張を貫く報道、既存メディアの枠組みを打破し自らの新しい可能性を追求する報道などを、丁寧に見ていきます。

キー局はもちろん、地上局、地方局、独立U局、CATV局、ラジオ局、番組制作会社、フリージャーナリスト、その他の団体などからの応募がより活発となるよう、賞についての広報を引き続き推進します。

また、10～11月を目処に、今年度で3回目となる公開シンポジウム「ギャラクシー受賞報道活動を見て、制作者と語る会」を開催します。



NPO 放送批評懇談会

第6回通常総会 2010

## 2010年度企画開催事業計画

1. 2010年度は、放送の今日的課題をめぐるシンポジウムの開催をはじめ、テーマを絞ったセミナー・研究会の開催を企画・立案・実施します。また、放送批評懇談会の根幹である「放送批評とは何か」について、対外的に発信する企画を立案します。
2. 本年度の企画事業委員会は、下記の委員で構成します。  
委員長 藤田真文  
委員 砂川浩慶 堀木卓也 前川英樹 元橋圭哉  
(以上シンポジウム企画担当)  
ほか若干名交渉中  
小林 毅 小林英美 深川 章  
(以上出版企画担当)
3. 2010年度には、経済危機・放送広告費の落ち込み、放送と通信関連の法体系を抜本的に見直す新放送法の成立、地上デジタル放送への完全移行を目前に控えた対応など、放送をめぐる急速な変動が予想されます。  
このような状況下で、社会・視聴者に資する望ましい放送のあり方、厳しい経営を余儀なくされる地域民放局の活路などを探っていくことが必要になっていくように思われます。また、放送局の不祥事に端を発した放送倫理や番組の質をめぐる議論は、「放送批評」の社会的必要性をますます高め、かつその方法論の深化が求められています。  
このような認識のもと、2011年3月の大型シンポジウムおよび年数回のセミナーの企画などに取り組んでいきます。
4. 記念事業プロジェクトと連携して、放懇の50周年記念に出版を計画する「放送批評の50年」の編集実務に協力し



NPO 放送批評懇談会  
ます。

第6回通常総会 2010

5. 事業実施にあたっての基本的方針は、以下の通りとします。
  - ①会の財政を考え当委員会の事業全体としての黒字を目指す。
  - ②他の委員会の企画との有機的な連動を図る。



第六号議案

放送批評懇談会

2010年度収支予算

2010年度予算案

2010年4月1日～2011年3月31日まで(単位:円)

科目	2009 決算額	2010 予算	摘要
I. 収入の部			
1. 会費等収入			
会費収入	2,396,050	2,800,000	正会員会費
維持会費収入	41,574,000	42,300,000	維持会員会費
2. 事業収入			
選奨表彰事業収入	25,372,984	25,000,000	参加料,贈賞式会費
企画開催事業収入	3,408,000	3,500,000	シンポジウム参加料
40周年記念収入	9,000		
3. その他の収入			
出版編集事業収入	10,638,335	5,000,000	GALAC販売
広告料収入	5,779,000	6,000,000	GALAC広告
4. 雑収入			
受取利息	158,071		
雑収入	0		
5. 取り崩し収入			
50周年準備特定資産取崩収入		1,000,000	
当期収入合計	89,335,440	85,600,000	
II. 支出の部			
1. 事業費			
選奨費	6,909,316	7,000,000	選奨委員会,審査会運営
式典費	9,707,239	9,700,000	ギャラクシー賞贈賞式開催費
企画開催費	2,762,922	2,300,000	シンポジウム開催費
原稿料	6,882,649	6,900,000	GALAC原稿料
編集費	3,485,169	3,500,000	GALAC編集費
雑誌印刷費	18,219,600	17,600,000	GALAC印刷費
発送費	1,842,593	1,770,000	GALAC発送費
2. 管理費			
給料手当	17,092,494	17,200,000	職員給与
人件費	2,696,760	3,500,000	契約職員,臨時職員経費
法定福利費	2,394,871	2,400,000	社会保険など
福利厚生費	142,069	150,000	職員,委員の時間外作業飲食費
旅費交通費	494,350	500,000	職員,役員交通費
通信費	1,060,146	1,100,000	郵便,宅配便,電話,ネット
資料費	1,004,811	1,000,000	新聞,雑誌,書籍
会議費	231,354	250,000	理事会,プロジェクトの会議費用
水道光熱費	262,876	270,000	水道代,電気代
事務用品費	120,298	130,000	事務用品,PC周辺機器も含む
消耗品費	462,798	480,000	コピー機使用料,日用品
備品費	209,954	600,000	デジタル化調査費,AV機器,PC
修繕費		10,000	修理費用
諸印刷費	338,762	500,000	会員名簿,封筒,名刺など
広報費	457,100	550,000	ホームページ運営,日韓中フォーラム経費
支払手数料	132,642	200,000	振込手数料,ネットバンキング利用料
賞借料	3,929,528	4,000,000	事務所賃借,コピー機レンタル
保険料	792,660	800,000	職員保険(退職金補填),火災保険
交際費	77,330	100,000	冠婚葬祭,中元,歳暮
雑費	740,311	750,000	税理士,社会保険士
諸会費	118,300	120,000	友好団体加入による会費
租税公課	115,644	120,000	法人税,事業税
退職給付引当金繰入	1,000,000	1,000,000	毎年100万円の積み立て
50周年事業費		1,000,000	50周年事業にかかる費用
予備費	0	100,000	予備の予算
当期支出合計	83,684,546	85,600,000	



NPO／特定非営利活動法人

## 放送批評懇談会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F

Tel. 03-5379-5521 Fax. 03-5379-5510

[kondankai@houkon.jp](mailto:kondankai@houkon.jp) <http://www.houkon.jp/>